



シミュレーションの境界

六月十四日の新聞に、イギリスからの「風だより」が載っておりまして。

神戸の多井畑でおきたショックな事件は、イギリスでも報道され、体操着姿で微笑む土師 淳くんの写真がどの新聞にも大きく掲載された。

この犯行の猟奇的な手口の背景に、本やビデオ、ゲームなどの影響があるということから、イギリスの人たちは、四年まえに起きた「ジエームスちゃん殺害事件」を思いだしたのである。

「ジエームスちゃん殺害事件」というのはこうだ。

犯人は、母親のショックの中で二歳のジエームスちゃんを誘いだし、二時間後にレンジで殴り殺し、死体を電車の線路に放置した。そして列車がその小さなからだを引き裂いた。

イギリス中が震撼したのは、その残酷性もさることながら、犯人が二人とも十歳の少年だったことだ。

平均的知能をもつ十歳のこの二人のこどもを殺人に駆り立てたものは何だったのか。裁判長はその判決でビデオの影響をみとめている。

「少年Bの父親が、ビデオ屋から借りて来た「CHILD'S PLAY3」というアダルトホラービデオ。少年たちの犯行はこのビデオの再現であったのだ」と言っている。そしてその裁判官が言っていること。

「ゲームといえば、先月から欧州でも発売になった「タマゴッチ」だ」

タマゴッチは、一羽が死んでもまた次ぎが



できる。

このゲームを繰り返すことによって罪意識や動物の死を悼む気持ち、こころの優しさなどが薄れてきはしないか。

ヒヨコの死に接することが日常的になれば、それが液晶画面上のことであるだけに、「死」に対して無感覚になるだろう。

もし子供たちが、いのちもあるものの「死」をシミュレーション的な次元でとらえるようになったら。

そう考えると恐ろしい。シミュレーション(模擬装置をとおしての感覚)。

実物には触れないで、映像画面でものをみてしまう。

もう十年も前の湾岸戦争のときに、シミュレーションのなかでおこなわれる先端科学兵器の戦争の恐ろしさ無情さをみせつけられたではないか。

「あたかもテレビゲームを遊んでいるような気持ちで爆撃に出掛けたんだよ」と飛行士たちはいっていた。

うちのおかみさんたちは、通信販売のカatalogで経済生活やっていますね。

農村の子供達も、ヒルに食いつかれながら一本一本苗を泥のなかに植え込んだ直接経験もたないから、稲のいのちの貴さも、ひとのいのちの重さも、地球の温もりもなにも分からなくなってしまうていふんです。

ひとごとじゃありません。

お念佛の声を、じかにきかせてもらわねばと思えます。(仏社役員提供)

葬儀

六月十四日

金久士心ず子様

永代経ご案内

七月八日 よる八時

九日 ひる二時

ことしは明年ご遠忌のつとまる蓮如上人について住職がお話いたします。

是非お参りください。

代参議員さまへのお願ひ

配布の「永代経志」の袋で供米収納ください。

マイクロボス

送迎について

従来永代経によるお参りには「おとしより送迎バス」を運行してきましたが、近年自家用車でのおまわりが増加しバス利用者が減ってきました。とりあえず今回、バス運行は中止します。

仏社会員の方々、積極的に、その地区のお年よりのお参りにご援助くださいませ。(仏社からのお願い)

仏婦総会云について

例年どおり七月九日に総会を開催します。わたしの仏婦総会です。会員ごぞつて御参加くださいませようご案内いたします。

☆この二年の物故者の追悼法要がございませ。関係のご遺族は必ずお参りください。

☆新入会員の入会式をいたします。あらたにお嫁にきた方は平服で必ずご参加ください。

☆例年どおり「作品展示会」をおこないます。手芸品・書画・工芸品そのた多数出品ください。

証評議員さまへお願ひ

①新入会員のお名前(世帯主名も)を5日までに報告ください。

②総会出席人数を(弁当の手配がありますので)5日までに報告ください。

③展示会の作品は七日に搬入してください。沢山出品くださるようお勧めください。

七月のこよみ

三日 斎藤義明氏宅法事

五日 森井 実氏宅法事

高福寺永代経

おみがかき奉仕(七時)

高福寺永代経

出石組仏社連盟総会

並研修会(善立寺)

七日 教区法要習礼

八日 勝林寺永代経

九日 勝林寺永代経

作口即展二小会

仏婦総会

追悼法要

十日 ビハラ兵庫役員会

玉日会定例法座

十二日 坪木 勉氏宅法事

十三日 山出石組「連研」

数森家結婚式(勝林寺)

淡路組布教大会へ

十四日 教区蓮如上人五

百回遠忌法要

十六日 十六夜会定例法座

十九日 天河組(福知山)同朋講座

二十日 出石高校定時制同窓会

二十二日 あすなる

二十六日 金久しづ子様忌

二十六日 前坊守七回忌法事お逮夜

要

二七日 前坊守七回忌法

要

二八日 仏牡丹但地区研

修会(豊岡光行寺)

あすなる吹き込み



おみがかき奉仕を七月五日(土)よる7時から

おこないます。どなたでも多数ご参加ご奉仕くださいませ。(仏社・仏婦より)

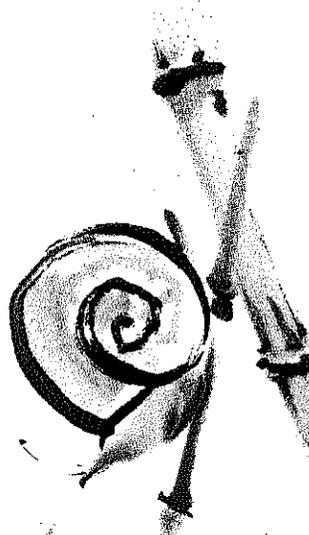
ごめんねごめんね

(町の主婦)

今日はクリーン作戦の日。
住民こそって平素手の行き届いて居ない公園の隅とか溝のなかの草取り清掃をおこないました。
わたしの側で作業なさっていたおばあさん、なにやらブツブツいいながら丁寧丁寧草を取っていらつぷつする。
そのそばでわたくしも、しばらく黙って草取りしている間にわかつてきました。
「ごめんね」「かんべんしてね」「おお、かわいそうにね」などです。
一時間あまりそのおばあさんと草取りさせていたでいて、わたしとっても大切なことを教えられました。

おばあさんはおっしゃいます。
「よく見てごらん。どんな名も知れない草だつて、一生懸命生きてるんだよ。そして一本一本別々の本当にみごとな花を咲かせるの。わたしは思うんだけど、草だって木だってもちろん人間だって、むだに生きてる者はひとつもない。姿やかたちはちがつても、みんななにかほとけさまのいのちをいたでいて、それぞれ一生懸命生きてるんだよ。それを、それぞれ都合勝手、摘んでしまったり抜いてしまったり。可哀想というより、そんなことやってる私がおそろしくてねえ。お念仏をとえながらわたしは鬼のおこないをしているんですよ。」
「それにもう一つ。しかたなく取るのやから、取るのは最小限度にして、全部取り切つてしまふのはよくないよ。草は、土にへばりついて、土止めの役目をしていてるんですよ。みんな草抜いたあとに大雨でも降つてごらん、その土簡単に流されてとんでもないことになっちゃうんだよ。無駄なものひとつもないんだから。」

おばあちゃんのお話きながら、最近あちこちで起きている、いたくない子供やかわいひ女の子の誘拐殺人事件のことを思い出しておりました。
自分かつてな興味や趣味で、また自分勝手な恨みで、なんの関係もない子供の命をむさむさうばつてしまふ。



出石組仏婦連盟 総会に参加して

谷垣八重野

六月八日、福成寺さままで出石組仏教婦人会連盟総会がおこなわれ、参加させていただきました。
総会行事に続いて物故者追悼法要が勤まりましたが、この一年のあいだに亡くなった方たちをめぐるいろいろな思いが頭をよぎり、身のひきしまる思いでございました。
午後からは、研修会。

まず、勝林寺ご院家様の同朋講座一時間。
「如来さまの本願力(他力)で、自力(自分だけの都合、利己的なこと)を打ち破つていただこう。そしてだれもだれも違つたまままで輝いていきる御同朋の世界に生きよう」という趣旨のおはなしでありました。
川上教朗先生の記念講演では、
「あいさつは、こころをおし広げていく。阿弥陀さまのおこころをいたでいて、花あかりの人であつてほしい」と
ほんとうにさわやかな一日でございました

ほうすい
すい
の
庭

打ち水
の
涼し

それはひとのことだけけど、このわたしだつて、自分の都合や自分だけの勝手、へいきでものを命を奪つている場合が多いのではないかな。
そやからせめて、それと気づいたら、「ごめんね」「ごめんね」とあやまらねばならないのだ。
今朝、クリーン作戦。
おばあちゃんから、なんといいたらいいのかわからないのちをばくむ生き方」を教えてくださいました。

ご院家さまより、宗祖親鸞様の生い立ちを詳しく聴聞させていただきました。こころ洗われる思いでいっぱいございました。
お寺さまから新年にいただいたカレンダーに「この苦悩においてこそ
如来の本願がきこえてくる
というおことばを、今度の聴聞のなかに今更ながら深くかみしめさせていただきました。
わたしにとって、とてもすばらしい降誕会のご縁でありました。ありがとうございます。

ことしの降誕会は、五月二十四日におつとまりでありました。
久しぶりにお寺におまいりさせていただきました。ましたら、いまは亡き坊守さまのご出生地の木とお聞きしていたおおきな、やまぼうしに、雨にあらわれた白いこまかな花が、ひとさわ鮮やかに美しく咲いておりました。
あのすずやかなお姿のおくさまにふとお出会いたような思いでございました。

五劫思惟之攝受
重誓夕夕声聞十十方

お参りして

谷垣八重野



研修旅行メモ

出発ギリギリに参加取り消しがでたりして、結果四〇人というこぶりの旅行団になりました。
わたしも今回はじめてお世話役をさせていたでいてわかつたことでした。こんな小さな旅行であっても、そのお膳立てには並大抵でない苦勞があるものだなということでした。仏社会長・副会長さん、ほんとうにありがとうございます。こまやかな気配りの運転手さん、すばらしい教養知識のガイドさんにめぐまれて、当初案じていた往路単調な中国縦貫の長旅も、快適愉快に運びました。
この旅行の目的地、石見の瑞泉寺。前坊守さまのふるさとで、お骨もこの墓所に分骨してあるということでした。
すごく大きな本堂や庫裡。自然を取り込んだ素晴らしいお庭などを拝観。そして奥様のお墓のまえにお参りしたとき、まさに奥様のお姿がありあり思い浮かんで、わたし一人ではなく全員が、胸つまりお念仏いたしました。
三瓶高原のまただなかの国民宿舎「さんべ荘」の玄関での記念写真です。少々宴会づかれの方もいらつぱりました。